

みつも郎10

～ 追加機能のご紹介 ～

「旧みつも郎書類ファイルの一括取込」機能

この度は、コベック株式会社の頼れる見積プロセス「みつも郎10」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本アップデートプログラムにおきましては、ユーザー様から頂戴したご意見などをもとに、「旧バージョンのみつも郎（みつも郎7 / みつも郎 Lite / みつも郎 5 for Windows）の書類ファイルをフォルダごと一括変換できる」機能を追加搭載させていただいております。

ここでは、その新機能の詳細についてご紹介します。

より一層充実した「みつも郎10」が、御社の業務促進にご活用いただけることを切望いたしております。

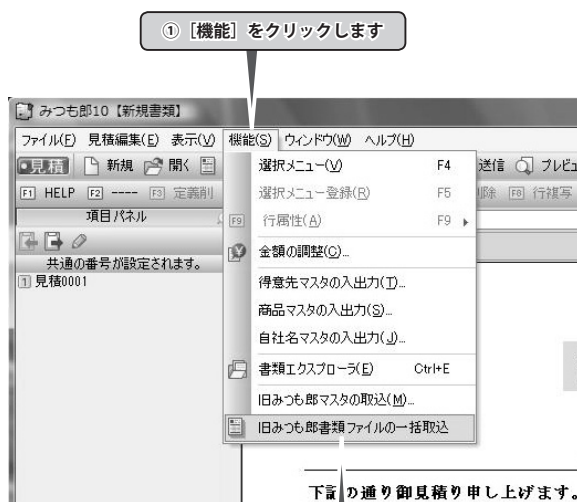
新機能

【旧みつも郎書類ファイルの一括取込】とは

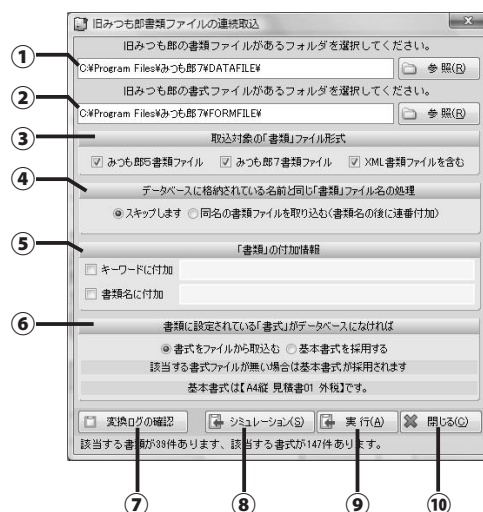
【旧みつも郎書類ファイルの一括取込】とは、旧バージョンのみつも郎（みつも郎7 / みつも郎 Lite / みつも郎 5 for Windows）で作成した複数の書類ファイルおよび各書類で利用している書式ファイルを、フォルダ指定をすることによって一括でみつも郎10形式に変換する機能です。

【旧みつも郎書類ファイルの一括取込】の実行

- 1 みつも郎10を起動して、メニューの「機能」－「旧みつも郎書類ファイルの一括取込」をクリックします。



- 2 「旧みつも郎書類ファイルの連続取込」ダイアログが表示されます。



- 1 旧みつも郎の書類ファイルがあるフォルダを選択してください。

<参照>をクリックすることで、旧バージョンのみつも郎書類ファイルが保存されたフォルダの選択ができます。

テキストボックスには選択したフォルダパスを表示しています。

- 2 旧みつも郎の書式ファイルがあるフォルダを選択してください。

<参照>をクリックすることで、旧バージョンのみつも郎書式ファイルが保存されたフォルダの選択ができます。

テキストボックスには選択したフォルダパスを表示しています。

参 考

■旧バージョンみつも郎のデータ保存先フォルダ■

旧バージョンのみつも郎における各データは、初期値の場合、下記フォルダが保存場所に指定されています。

▼みつも郎 7

書類ファイル	C:\Program Files\みつも郎 7\DataFile
書式ファイル	C:\Program Files\みつも郎 7\FormFile

▼みつも郎 Lite

書類ファイル	C:\Program Files\みつも郎 Lite\DataFile
書式ファイル	C:\Program Files\みつも郎 Lite\FormFile

▼みつも郎 5 for Windows

書類ファイル	C:\Program Files\Micwin5\DataFile
書式ファイル	C:\Program Files\Micwin5\FormFile

※ Windows のシステムドライブが「C ドライブ」以外の場合は、「C:」をシステムドライブに置き換えてください。

③ 取込対象の「書類」ファイル形式

指定したフォルダ内で、みつも郎 1 0 へ取り込む対象となるファイル形式を選択します。チェックを入れた項目が読み込み対象となります。

みつも郎 5 書類ファイル	みつも郎 5 で作成した書類ファイル（拡張子が「.M5D」）の書類ファイルを読み込みます。
みつも郎 7 書類ファイル	みつも郎 7、もしくはみつも郎 Lite で作成した書類ファイル（拡張子が「.M7D」）の書類ファイルを読み込みます。
XML 書類ファイルを含む	みつも郎 7、もしくはみつも郎 Lite で作成された XML 形式のファイル（拡張子が「.XML」）のファイルを読み込みます。

④ データベースに格納されている名前と同じ「書類」ファイル名の処理

みつも郎 1 0 で既に保存済みの書類と、指定したフォルダ内に同名の書類ファイルが存在する場合の処理を選択します。

スキップします	先に保存された書類を優先し、後から保存しようとした書類の読み込みはスキップします。
同名の書類ファイルを取り込む（書類名の後に連番付加）	保存した書類名の後ろに番号を自動付加し、それぞれを別書類として保存します。

⑤ 書類の付加情報

読み込んだ書類をみつも郎 1 0 へ保存する際に、書類名やキーワードの先頭へ設定した文字列を自動的に付加します。

※読み込んだ書類をみつも郎 1 0 へ保存する際に、書類名の後半へ読み込み元の形式をあらわす「_M5D」「_M7D」「_XML」という文字列が自動付加されます。

参 考

■付加情報の設定例■

以下のような設定例で取り込み作業をした場合、書類名・キーワードでみつも郎 1 0 に保存されます。

◎取り込み前の書類ファイル

- ・タイトル : みつも郎シリーズ提案分
- ・ファイル名 : 07 年 5 月 30 日コベック株式会社宛 .M7D

◎「書類」の付加情報設定↓

◎みつも郎 1 0 での取り込み結果

⑥ 書類に設定されている書式がデータベースになれば

読み込み書類で利用している書式とみつも郎 1 0 で既に存在する書式にて、同名の書式が見つからない場合の処理を設定します。

書式をファイルから取込む	「旧みつも郎の書式ファイルがあるフォルダ」で指定したフォルダから書式を読み込んでみつも郎 1 0 形式の書式として保存し、且つ読み込んだ書類にその書式を適用します。
基本書式を採用する	みつも郎 1 0 で基本書式に設定されている書式に置き換えて、書類を読み込みます。

※「旧みつも郎の書式ファイルがあるフォルダ」を正しく指定していない場合、もしくは指定したフォルダに書類ファイルで利用している書式ファイルが存在しない場合、『書式をファイルから読み込む』を設定していても、みつも郎 1 0 の基本書式に置き換えて書類が読み込まれます。

⑦ <変換ログの確認>

一括取込を実行した各データの変換状況を記録した CSV ファイルの保存されたフォルダを開きます。

⑧ <シミュレーション>

一括取込を実行した場合のシミュレーションをします。

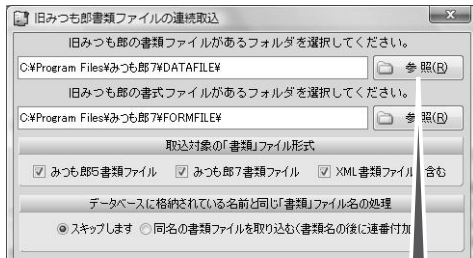
⑨ <実行>

設定した内容で一括取込を実行します。

⑩ <閉じる>

「旧みつも郎書類ファイルの連続取込」ダイアログを閉じます。

- 3** 「旧みつも郎の書類ファイルがあるフォルダを選択してください」欄の<参照>ボタンをクリックします。



<参照>をクリックします

- 4** 「フォルダ参照」ダイアログで旧バージョンのみつも郎で作成された書類ファイルが保存されたフォルダを指定して<OK>をクリックします。

①フォルダを選択します



②<OK>をクリックします

- 5** 書式ファイルの変換も必要な場合は、「旧みつも郎の書式ファイルがあるフォルダを選択してください」欄の<参照>ボタンをクリックし、旧バージョンのみつも郎で作成された書式ファイルが保存されたフォルダを指定します。



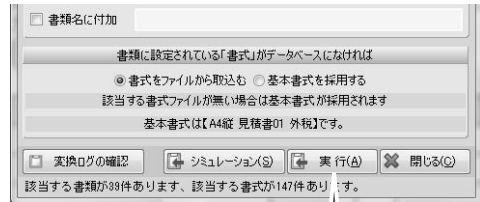
①<参照>をクリックします



②フォルダを選択して<OK>をクリックします

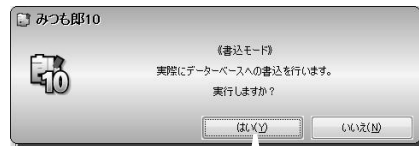
※旧みつも郎の書式ファイルを読み込む必要がない場合はこの作業を省略し、次の手順へと進んでください。

- 6** その他のオプションを設定し、<実行>をクリックします。



<実行>をクリックします

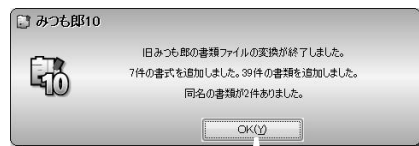
- 7** 「実行しますか?」の確認メッセージで<はい>をクリックします。



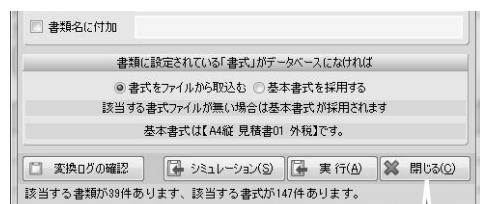
<はい>をクリックします

※データ量によって変換作業には時間を要する場合があります。

- 8** 「終了しました」の確認メッセージを確認して<OK>をクリックし、<閉じる>をクリックして「旧みつも郎書類ファイルの連続取込」ダイアログを閉じます。



①<はい>をクリックします



②<閉じる>をクリックします

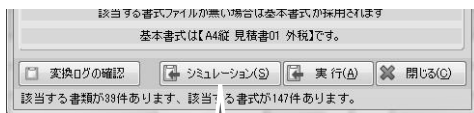
以上で「旧みつも郎書類ファイルの一括取込」作業は終了です。

＜シミュレーション＞の実行

＜シミュレーション＞ボタンでは、「旧みつも郎書類の一括取込」を実行した場合のシミュレーションをすることができます。実際に取込作業をする前に、何件の書類ファイルや書式ファイルが取込されるかの確認をすることができます。

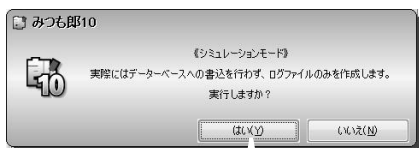
1 前述の手順〔1〕～〔5〕までを行い、「旧みつも郎書類ファイルの一括取込」の設定をしておきます。

2 ＜シミュレーション＞をクリックします。



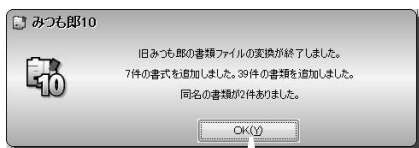
＜シミュレーション＞をクリックします

3 「実行しますか？」の確認メッセージで＜はい＞をクリックします。



＜はい＞をクリックします

4 表示されたメッセージ内容を確認し、＜OK＞をクリックします。



＜OK＞をクリックします

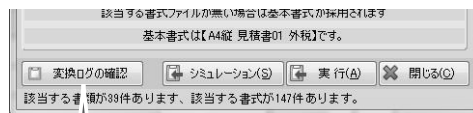
以上で＜シミュレーション＞の実行作業は終了です。

＜変換ログの確認＞の実行

＜変換ログの確認＞ボタンからは、「旧みつも郎書類の一括取込」を実行した各データの変換状況を確認することができます。書類変換の可否や、取り込みされた書類に適用された書式の確認などが可能です。

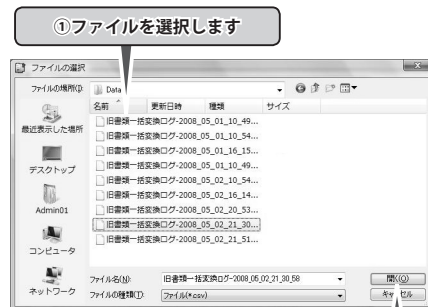
1 前述の手順〔1〕～〔5〕までを行い、「旧みつも郎書類ファイルの一括取込」の設定をしておきます。

2 ＜変換ログの確認＞をクリックします。



＜変換ログの確認＞をクリックします

3 「ファイルの選択」ダイアログが開き、一括取込（もしくはシミュレーション）を実行した際に作成された変換ログのCSVファイル一覧が表示されます。確認したいログファイルを選択し、＜開く＞をクリックします。



②＜開く＞をクリックします

※変換ログのファイルに付けられた後半の数字は、「…年_月_日_時刻」を意味しています。ファイル名を参考に確認するログファイルを選択してください。

4 変換ログの一覧が表示されます。

旧書類ファイル名	書類読込結果	旧書類タイトル名	旧書式ファイル名
1998年06月21日_A8C	○：読込成功	A B C機器株式会社	A4TM1B
1998年06月30日_A8C	○：読込成功	A B C機器株式会社	A4TM1B
1998年06月18日_A8C	○：読込成功	A B C機器株式会社	A4TM1B
1998年07月22日_A8C	○：読込成功	A B C機器株式会社	A4TM1B
1998年08月07日_A8C	○：読込成功	A B C機器株式会社	A4TM1S
2002年02月25日_123	○：読込成功	1 2 3 4 5 6 株式会社	A4YMIU
2002年03月15日_123	○：読込成功	1 2 3 4 5 6 株式会社	A4TM1B
2002年06月25日_123	○：読込成功	1 2 3 4 5 6 株式会社	A4TM1B
見稿00004_コバック	○：読込成功	コバック株式会社	A4TM1CU
見稿00005_コバック	○：読込成功	コバック株式会社	B5YS1
見稿00017_コバック	○：読込成功	コバック株式会社	B5Y01S

以上で＜変換ログの確認＞の作業は終了です。